

「政治がどう動こうが、企業は強い」リーマンショック後のこの1~2年、経営者の方々とお会いしていると日本の企業は本当に強くなっていると感じます。これは、ある意味あまりに不甲斐無い政府によって鍛えられているとも感じます。法人税の引下げやTPPなどを本気で当てにしている経営者はいません。円高への対応も筋肉質な体質作りで10年前とは見違えるほどです。そればかりか、現在、日本企業は過去最高の210兆円程度の現預金を保有し、足元の円高を利用してM&Aなどを通じて攻めに転じ始めています。また、これまでは自動車や家電などの製造業が日本を代表する企業でしたが、今後は、非製造業でもグローバル化に対応し世界的な企業に成長していくと考えています。当社の投資先でも、楽天やローソンなどはその先頭に立っていると思います。こうした企業群は既に、日本企業かどうかというレベルを超えています。日本経済の低迷や政局に気を奪われて、日本経済の成長≠日本企業の成長を見逃してはなりません。 代表取締役社長 伊井哲朗

8 月 末 の 状 況 (資産の内訳については、マザーファンドの状況を記載しております)

設定来の運用実績



基準価額		純資産総額		
11,618 円		11 億 7,191 万円		
分配実績	第 1 期	第 2 期	第 3 期	
	120 円	130 円	—	
資産の内訳		割合		
株式 (32 銘柄)		97.6%		
うち日本株式		100.0%		
うち海外株式		0.0%		
現金等		2.4%		
2011 年 8 月末お客様の状況				
顧客数		2,306 人 (21 人増)		
うち積立 (8 月 19 日)		1,681 人 (18 人増)		

投資パフォーマンス	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
コモンズ 30 ファンド (税引前分配金込み)	-7.59%	-8.19%	-12.95%	0.35%	—	18.27%

今月の5銘柄について

コモンズ30ファンドでは投資先のことを、より理解していただくため、毎月投資先銘柄の中から任意に5銘柄を紹介させていただきます。今月の5銘柄とコモンズが考える銘柄選択の視点は以下のとおりです。

銘柄	選択の視点
NEC (6701)	老舗ネットワーク会社、復活の夜明け 日本を代表する住友系ネットワーク会社。不採算事業の統廃合を進めてきました。社長就任前から構造改革実施、現中計策定に携わってきた遠藤新社長のリーダーシップのもと、海外事業への経営資源集中、クラウド時代の到来などにより、従来の縮小均衡から脱却できるかに注目しています。
ディスコ (6146)	kiru、kezuru、migaku 世界を代表する精密加工装置メーカー 半導体やLEDの製造に欠かせないグラインダーやダイサーなどをつくっています。「誰が正しいかではなく、何が正しいか」などディスコバリューで、自社の経営体制も磨き続けます。
ユニ・チャーム (8113)	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長 これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
SMC (6273)	呼ばなくても来るサポート体制で、じりじりシェア拡大 工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長。
信越化学 (4063)	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性 収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジー、双方で高いシェアを獲得しています。

コモンズ30ファンドのリスクおよび手数料などについて

リスク	当ファンドは、実質的に国内外の株式を投資対象としますので、組入れ株式の値動きにより基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資した場合、為替レートの変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。これらにより生じた利益および損失は、すべて当ファンドの投資家であるお客さまに帰属することになります。また、元本および利息の保証は無く、預金保険の対象でもありません。したがって、お客さまが投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.2075%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.105%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。
設定日等	当ファンドの設定日は2009年1月19日、決算日は毎年1月18日です。

* リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

セミナー・オープンオフィス情報

コモンズ投信では、「対話」というキーワードを大切にしています。コモンズ30ファンドを支えてくださる皆さま、一緒に成長して行こうとする皆さまとともに考えるセミナーを、随時開催してまいります。加えて、お客さまが気軽にオフィスにお越しいただけるよう、オープンオフィスの機会もございます。お気軽に遊びにいらしていただき、ご要望やご不明な点は何なりとおっしゃっていただければ幸いです。

スモールセミナー「はじめてのコモンズ」	
日時	9月8日(木)・27日(火) 19時～21時 9月15日(木) 14時～16時 @弊社7F 定員15名 無料
第三回コモンズ社会起業家フォーラム～これからの日本の再起動を促すチェンジメーカー～	
日時	10月2日(日)
場所	第1部(フォーラム)：14時～16時30分（国際文化会館講堂（東京都港区六本木5-11-16）120名/1000円（既に当社で口座を開設されているお客様は無料です） 第2部(懇親会の部)：17時～19時（ワールド・インベスターズ・トラベルフェ 港区六本木6-1-3 六門ビル1F）
定員/会費	50名/2500円（会費制：ご要望にお応えして本年から新設しました）
新装開店！オープンオフィス「コモンズ流運用とは」	
日時	9月22日(木) 18時～20時 @弊社7F 定員10名 無料

☆9月の草食投資隊は、草快塾としてレオス・キャピタルワークス セミナールーム（PWCC丸の内17F）で8日に行います。

* 各開催内容の詳細およびお申し込みは、弊社コールセンター または弊社ホームページ <http://www.common30.jp/s2.html> をご確認ください。

お問い合わせ先
コールセンター
電話：03-3221-8730（平日9時～17時）
メール：commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。